

【様式】

平成31年度 学校マネジメントシート

学校名 ( 四日市西高等学校 )

1 目指す姿

(1) 目指す学校像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主・自律をモットーに、地域から信頼される活力ある進学校を目指します。</li> </ul>	
(2)	育みたい 児童生徒像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら学ぶ喜び、わかる楽しさを実感できる生徒。</li> <li>・生徒一人ひとりの持つ力を伸ばし、それぞれの目指す進路を実現できる生徒。</li> </ul>
	ありたい 教職員像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の専門集団として力を高め、協働して活力ある教育活動を創造できる教職員。</li> <li>・「信頼」を軸に、生徒、保護者はじめ全ての関係者との絆を深め、安全で安心して学べる教育環境を創造できる教職員。</li> </ul>

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒は、学習指導などを通して、粘り強く進路実現をしたいと望んでいます。しかしやや受動的傾向があり、自分から積極的な行動に移せない面がみられます。</li> <li>・保護者は、様々な情報提供を受けて、子どもの成長を実感し、本人が望む進路選択をさせたいと望んでいます。</li> <li>・地域からは、地元の中学生在が入学したいと思える、頼れる学校であってほしいと期待されています。</li> </ul>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の保幼小中からは、模範となる高校生としての行動を期待されています。</li> <li>・保護者からは、生徒が自己実現を果たせるよう、希望する大学や上級学校などへ円滑に接続できる、確かな学力や生きる力をつける指導が期待されています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜地域の高校として、本校の教育活動に理解・支援をしていただくとともに、忌憚のない意見や提言をしていただきたい。</li> <li>・小中高の一層の連携を深め、地域全体で生徒を育む取組を一緒に進めていただきたい。</li> </ul>
(3) 前年度の学校関係者評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の学習指導面に係る、きめ細やかな指導や取組が成果となって表れている。</li> <li>・評価欄に記載される回数や達成率等を予め取組内容・指標の欄に記載しておく活動しやすくなるとともに評価も明確になるのではないかと。</li> <li>・限られた時間の中でいかに進路に係る成果を維持していくかという思考を持って、働き方改革に取り組む必要がある。</li> </ul>	
(4) 現状と課題	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校は創立44年目の普通科高校で、15,789人の卒業生は地元をはじめ全国各地で活躍している。平成7年度に比較文化・歴史コース、続いて平成15年度には数理情報コースを新設し、普通科の中から、さらに学びの視野を広げ、難関大学への進学という自己実現を図りたいとする要望に応えることとした。平成25年度入学者選抜から、前期選抜でコース定員の25%、後期選抜で残り75%を両コースのくくり募集としている。</li> <li>・今年度、近隣3中学校（桜・菟野・三滝）から入学者の割合は、約22%であり、本校の教育活動が地元から評価と信頼を得ていると判断できます。一方でさらに生徒の学力幅や個性が広くなり、一人ひとりの状況に対して満足いく高校生活や進路を実現させていくことが引き続きの課題である。</li> </ul>
	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校は、840人近い生徒が在籍する高校として、安全で安心して学べる教育環境づくりに努めています。</li> <li>・大規模地震等災害に備え、四日市市の指定避難所として地域住民の防災避難訓練等を受け入れています。</li> <li>・教職員の総勤務時間の縮減が課題となっていることから、教職員の健康管理に留意し継続的に様々な取組を行う必要があります。</li> <li>・教員による不祥事が県内で発生していることから切れ目なく職務に対する責任感を認識させることや管理職に相談しやすい雰囲気作りに努める必要があります。</li> </ul>

### 3 中長期的な重点目標

教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 質の高い授業の創造に努め、生徒が自ら学ぶ喜び、わかる楽しさを実感できるよう授業の充実を図ります。</li> <li>② 教科マネジメントを確立することにより、学びの仕組みを十分に機能させ、基礎学力の定着と自ら設定した進路希望を実現するための、確かな学力の定着を図ります。</li> </ul> </li> <li>○生活指導               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 生徒の自己指導能力向上を図ります。</li> <li>② 高い規範意識と公共の場での倫理観を確立させます。</li> <li>③ 学校行事・課外活動を通して活力のある西校生を育成します。</li> </ul> </li> <li>○進路指導               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 教職員は生徒の進路希望の実現に向けて、面談の力を高める努力をします。</li> <li>② 教職員は生徒の学習活動を重視し、希望実現に必要な学力の向上・定着のための支援を行います。</li> <li>③ 教職員は進路指導および高大接続にかかわる各種情報を整理、対応できるようにします。</li> </ul> </li> <li>○保健管理               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 生徒の健康状態や健康課題を適切に把握し、生徒が自らの健康課題に取り組めるような機会を設けるとともに、生徒が安心して学ぶことのできる安全で適切な学校環境を確保します。</li> <li>② 関係職員との連携をより充実させ、同じ見通しを持って生徒を支援します。</li> </ul> </li> <li>○人権教育               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 人権学習を通し、様々な差別問題を自分事として捉え、他者に共感し、「いじめを許さない心」や「自他の命の尊重する」態度と行動力を涵養します。</li> </ul> </li> </ul>
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校運営全般               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 高大接続改革、新学習指導要領の実施等の教育改革に対応しうる学習の仕組みや授業の在り方について、カリキュラムマネジメント構築を図ります。</li> <li>② 教育活動全般にわたり効果的なマネジメントに努め、その結果をもとに学校関係者評価活動に取り組むことで、学校マネジメントの質を高め、教育活動の向上に努めます。</li> <li>③ 教職員が対話を通して関係づくりに努め、業務の平準化を図り支え協力し合うことを通して組織能力を高め、やり甲斐を持って教育活動に邁進できる満足度の高い学校づくりをします。</li> <li>④ 年休取得の促進や定時退校日の遵守などを定着させ、教職員の総勤務時間の縮減に努め、健康管理と健康維持の取組を行います。</li> <li>⑤ コンプライアンスミーティングを定期的に行うことで教職員の不祥事を発生させない土壌づくりに努めます。</li> </ul> </li> </ul>

### 4 本年度の行動計画と評価

#### (1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など  
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
1 学習指導	(1) 授業交流は1学期に2週間とし、より一層授業の公開と参観と促します。 <div style="text-align: right;">※授業交流状況</div> (2) 授業アンケートの実施は2学期の2週間内とし、授業に対する生徒自身の自己評価と教員自身の振り返りを促します。 <div style="text-align: right;">※授業アンケート結果</div> (3) 教務委員会で各教科から意見を集約し、新学習指導要領と目指す学校像に沿った教育課程の編成を進めます。 <div style="text-align: right;">※会議での進捗状況</div>	(年度末および適宜記載)	
2 生徒指導	(1) 生徒が自分で判断して実行し責任をとることを指導の中		

<p>3 特別活動等</p> <p>4 進路指導</p> <p>5 人権教育</p> <p>6 保健管理</p>	<p>で経験させていきます。 ※指導件数</p> <p>(2) 通学マナー向上とスマートフォンの適切な取り扱いを身につけさせます。 ※生徒向け講習実施</p> <p>(1) 学校行事・クラブ活動・生徒会活動・ホームルーム活動における支援を充実させます。 ※生徒満足度</p> <p>(1) 進路に関する知識や情報を収集・理解し、面談等を通じて進路実現への道筋を用意します。 ※生徒満足度</p> <p>(2) 自学自習の精度を高める授業・学習を目指すとともに、学習支援活動を行い、進路実現を図ります。</p> <p>※手帳活用状況</p> <p>(3) 進路および高大接続に関する各種データや情報を活用しやすいうように情報発信の機会を図ります。</p> <p>※各説明会での指導状況</p> <p>(1) 教職員や生徒の日常的な人権意識の向上を目指します。</p> <p>※人権・いじめ事象状況</p> <p>(2) 人権教育推進計画を見直し、PTA 共催人権講演会を行い、「命の尊重と人権意識の向上」を目指します。</p> <p>※年1回実施</p> <p>(3) 人権教育推進計画に基づき、人権 LHR を公開で行い、人権意識の向上、問題の共有化、他者の尊重に重点を置き、個別の人権問題について実践を深めます。</p> <p>※アンケート分析</p> <p>(1) 生徒の心身の健康状態の変化や問題点を早期発見するために、日常的な健康観察の充実を図り、適切な対応ができる体制をつくります。 ※学年団との連携状況</p> <p>(2) 校内の安全点検を実施し改善していくことで、危機発生を未然に防ぎ、適切な学校環境衛生を確保します。</p> <p>※年2回以上実施</p> <p>(3) 会議・研修会を利用し、教職員の保健・教育相談分野への理解向上を図ります。 ※年1回以上実施</p>	<p>◎</p>
改善課題		
(年度末に記載)		

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など  
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

項目	取組内容・指標	結果	備考
1 組織運営	<p>(1) 業務遂行に必要な情報を適切に収集・提供し、各部会、委員会、教科会で活用することで、課題解決について具体策を構築します。 ※職員アンケート</p> <p>(2) 本校独自のキャリア教育やその指導の在り方を中心に研究します。</p>	<p>(年度末および適宜記載)</p>	

<p>2 業務改善と職員健康管理</p> <p>3 情報提供</p>	<p>① 進路探究検討委員会を組織して各学期に1回（計3回）開催し、「総合的な探究の時間」の具体的な指導内容を協議・共有します。 <b>※会議での進捗状況</b></p> <p>② 大学入試共通テストの実施を次年度に控え、適切な対応が取れるよう引き続き情報収集及び対応を検討します。 <b>※職員対象の研修</b></p> <p>(3) 職員の不祥事根絶に向けた取組を行います。 <b>※職員研修とチェック表の実施</b></p> <p>(1) 日常的に教職員の健康管理に努めるとともにワークライフバランスの改善に向け行動します。</p> <p>① 一人ひとりが休暇取得日数を昨年度実績の維持に努めます。 <b>※休暇取得日数平均1人20日以上</b></p> <p>② 毎月、定時退校日を定めて、一人ひとりが定時退校に努めます。 <b>※定時退校率75%以上</b></p> <p>③ それぞれのクラブにおいて、部活動休養日を週1日設け、休養に努めます。 <b>※設定率90%以上</b></p> <p>④ 会議時間が60分以内となるように努めます。 <b>※主要会議数の85%以上</b></p> <p>(2) 総勤務時間の縮減に向け継続して取り組みます。</p> <p>① 職場全体における時間外勤務平均時間数の削減に努めます。 <b>※前年比で-1時間</b></p> <p>② 当月時間外労働が80時間を超える職員の延べ人数の削減に努めます <b>※前年比-50%以上</b></p> <p>(1) 本校教育活動を生徒、保護者、地域社会へ効果的な情報発信に努めます。</p> <p>① 情報を適切に伝え、保護者、PTAに学校行事への参観や参加の呼びかけを強めます。 <b>※保護者来校者数前年比増</b></p> <p>(2) 地域の高等学校として地域とともに育つ学校づくりに邁進します。 <b>※地域対象の授業公開実施</b></p> <p>(3) 必要に応じて同窓会とも連携します。 <b>※同窓会との情報共有状況</b></p>	<p>◎</p>
改善課題		
(年度末に記載)		

明らかになった 改善課題と次へ の取組方向	(年度末に記載)
-----------------------------	----------

6 次年度に向けた改善策

教育活動につ いての改善策	(年度末に記載)
------------------	----------

学校運営につ いての改善策	(年度末に記載)
------------------	----------